

2024年12月20日

佐渡島における「再生可能エネルギー・蓄電池、EMSなどを
組み合わせた需給制御」の運用開始について
～「新潟県自然エネルギーの島構想」の先導的プロジェクトとして～

当社は、佐渡島における再生可能エネルギーのさらなる導入拡大に向け、新潟県が掲げる「新潟県自然エネルギーの島構想」の先導的プロジェクトとして、再生可能エネルギーや蓄電池、内燃力発電、エネルギーマネジメントシステム（以下、EMS[※]）などを組み合わせた最適な需給制御の実現に向け取り組んでおりました。

（2021年10月5日 お知らせ済み）

こうした中、当社は、本日、再生可能エネルギーや蓄電池、内燃力発電、EMSなどを組み合わせた需給制御の運用を開始しました。

今後も、再生可能エネルギーのさらなる導入拡大時に必要となる需給制御や、将来の再生可能エネルギーの最大限活用に向けた電源計画を検討するための知見等を蓄積し、佐渡島における最適な需給制御に向けた取り組みを進めてまいります。

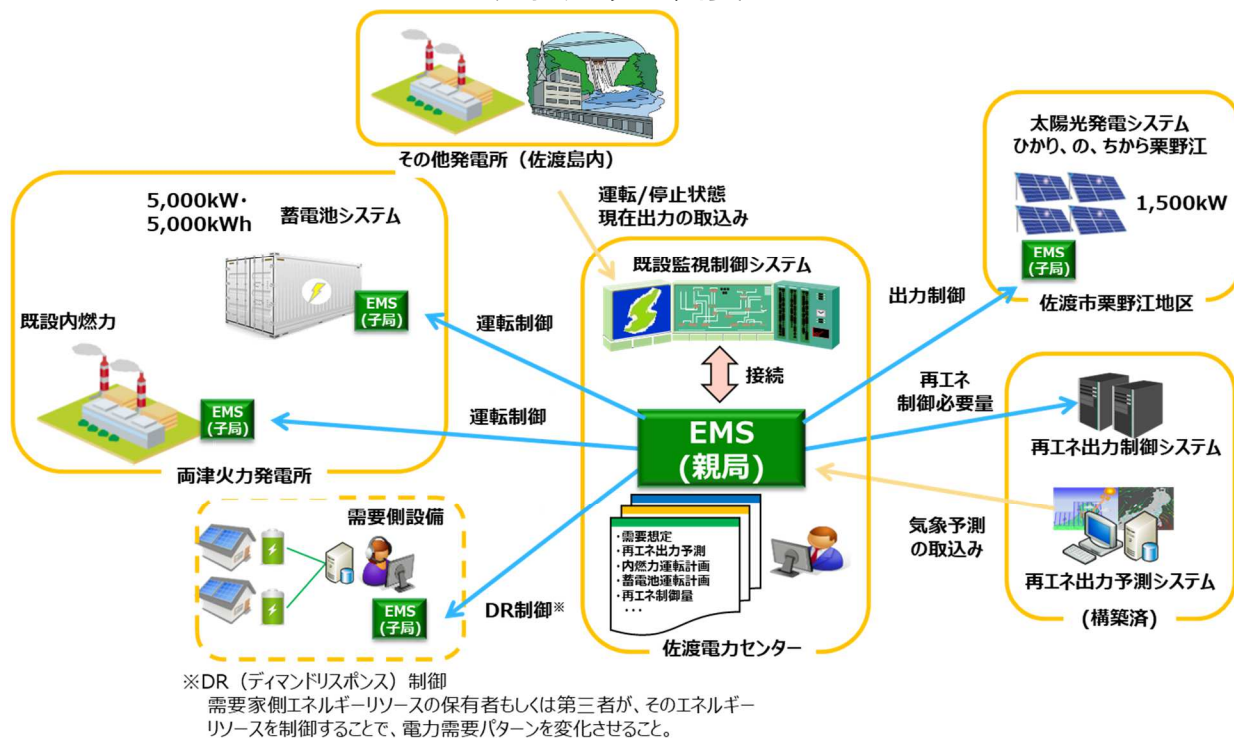
当社は、「東北電力グループ“カーボンニュートラルチャレンジ2050”」の実現に向け、電力ネットワークの高度化を通じて、安定供給の維持と電源の脱炭素化に向けた環境整備などに取り組んでまいります。

※島内の電気の使用量を予測するとともに、太陽光発電・内燃力発電などの発電量を一元的に把握・管理し、蓄電池の充放電と内燃力発電の出力調整などを適切に制御するシステム

以上

（別紙）「佐渡島における最適な需給制御の実現に向けた取り組み」の概要

佐渡島における最適な需給制御の実現に向けた 取り組みの概要



【事業概要】

工期	着工：2022年10月3日 運用開始：2024年12月20日	
設備、 場所 (規模) 運転開始日	EMS 親局 (新設)	佐渡電力センター 2024年12月20日運用開始
	太陽光発電 (新設)	佐渡市栗野江地区「ひかり、の、ちから栗野江」 (1,500kW) 2023年12月18日運転開始
	内燃力発電 (既設)	両津火力発電所他
	蓄電池 (新設)	両津火力発電所構内 (5,000kW・5,000kWh) 2023年12月18日運転開始
	需要側設備	2024年10月31日制御開始

以上